

Q: 今回のアイデアソンを通じて、どんな学びがありましたか？

- 仲間と何かを作るのは短期的にみるとよくないが、長期的に議論を重ねることで、大きな物を作れると思った。
- 「あんなこといいな、できたらいいな」という感情に蓋をせず、とにかく今の自分にできることを探して、行動して、一歩踏み出すこと。
- 複数人で会話しながらのほうがアイデアが出やすかった。
- 企業訪問や役立つアイデアを考えるプロセスの中で、自分が普段取り組んでいる分野以外の知識も深めることができた。さまざまな企業の取り組みや課題に触れることで、新しい視点や考え方を得られ、発想の幅が広がりました。
- 共同作業という点において、はじめに大まかな筋道を立てておくスムーズに事を運ぶことができることを実感しました。
- チームで協力する難しさを学べた。
- 今回のアイデアソンを通じて、企業が実際にどのようなサービスの研究開発を行っているのかを知ることができました。
- アイデアソンの参加を切っ掛けに、初めて展示会に参加したのですが、自分の想像以上にアンテナを設計、開発している企業があり、たくさんの企業の仕事内容などを知ることが出来ました。また、自分が知らない分野についても学ぶ機会がたくさんあり、アイデアソンを通して、とても勉強になりました。
- 普段は別の研究をしているのでマイクロ波にふれる機会がなかったがマイクロ波について知ることができた。研究では先生からテーマと解決方法を与えられることが多いが、アイデアソンではコンセプトは与えられるが個別のテーマやその解決方法はチームで考える必要があり、チーム内で話すと自分では考えないようなアイデアが生まれてとても生産的だった。普段の研究や社会に出てもアイデアを生み出すということは大事であり、今回のアイデアソンはとても有意義であった。
- マイクロ波が幅広い分野で応用されていることを改めて学ぶことができた。
- 参加する前はマイクロ波技術の活用について通信と防衛しか知識がありませんでした。今回アイデアソンに参加し、「マイクロ波技術で創る、共感と共生」というメインテーマをもとにブースを周ることで、これまでに意識してこなかったマイクロ波技術の医療やバイオエネルギーへの活用という側面を見ることができました。また、今後もどこかで会うかもしれない仲間とアイデア形成のために議論をしたり、研究のことを寝食ともにしながら話をする良い機会となりました。
- マイクロ波についてより深く知るきっかけになった
- 普段メインで研究している分野とは異なる分野の知識と業界の動向
- 解決策に飛びつく前に社会課題の定義に時間をたくさん費やしました。そのおかげで、ぶれないアイデアの軸を確立できました。

また、MWE は自分の研究の専門外だったのでほかのチームメンバーはわかっているけど、自

分はわからない単語などがかなり多くありました。しかし、わからないことを隠さずに伝えると丁寧に説明していただき、プレゼン準備を円滑に進めることができました。

- 初対面の他大学の人と交流して話し合い、協力して考える力がついた。

Q:特に楽しかった点や印象に残った瞬間を教えてください

- アイディア出しで、チーム内で討論する時
- チーム内で話し合いながらアイデアを出し合っていた時間
- アイデアをだしてるとき。
- アイデア創出のために出展者ブースを見学する時間が、普段の学生生活ではなかなか経験しない事なので印象深く、とても楽しかったです。
- 1日目の懇親会
- レセプションの料理が豪華だった
- 参加する前は、初対面のメンバーと3日間で本当に1つのものを作り上げられるのだろうかという不安がありました。しかし実際には、メンバーそれぞれが異なる専門知識を持っていたことで、想像以上に多様なアイデアが生まれ、相談しながら形にしていくプロセスがとても楽しい時間になりました。また、自由時間にグループのメンバーや他グループの方々とゆっくり話すことができ、お互いのことをより深く知るきっかけになりました。
- 初対面の方々と3日間日夜共に過ごすという体験そのものが新鮮で楽しかったです。ほかの班の方々ともある程度交流できてよかったと思いました。
- ホテルの部屋で自分のチームだけでなく、他チームメンバーも一緒になって、夜にみんなでトランプをする時間を作るために、発表資料をすごいスピードで仕上げていた時間が一番印象に残っています。時間に追われながらも、アイデアをまとめ、スライドがどんどん形になっていく過程がとても楽しく、チームで取り組むことの充実感を強く感じました。
- 中間発表の雰囲気が印象に残っている。
- 中間発表で、初めて多人数の大人の前で発表をする経験をしたので、とても緊張したという点から印象に残っています。
- 実際の製品を見ることで研究と社会のつながりを身近に感じる事ができた。また企業の方が詳しく製品の説明をしてくださったので大変勉強になった。
- チームとしてアイデアを創出していくことが難しく、それぞれの考え方の違いをどうまとめるか悩んだことが印象に残っています。
- 1日目の夜にメンバーとホテルで発表の方針について話し合いをした時です。お互いにブースで見たものについて出し合い、今後の方針と次の日からブースでどのような情報を集めるかを考えるのが楽しかったです。
- メンバーと発表練習を重ね、スライド作成も試行錯誤していたので、結果発表のときは達成感と連帯感を感じることができました。また、企業ブースで技術を説明してくださる社員さんの熱

意を感じたとき、モチベーションを分け与えていただいて、自分も研究を頑張ろうと思えました。

Q: 次回参加検討される学生にコメントをお願いします

- ファイト
- がんばってください。
- 頑張ってください。
- なかなかできない貴重な体験がたくさんできるので、ぜひ楽しんでみてください。
- ぜひ参加してみてください。
- 企業の方々と間近で話すことができ、チームでの活動も経験できる貴重な場であるため、ぜひ参加してみてください。
- このイベントへの参加は普段の学生生活ではあまり得る事のない経験だと思います。精一杯楽しんでください。
- 専門分野でなくても、学びになりますし、楽しむことができます。
- 最初は不安でしたが、普段と違う経験ができて、多くのことを学びました。
- アイデアソンというイベントに参加しながら出展ブースも見れるため、ただ MWE を見に来るより自分の力になると思います。
- 二十歳を超えてから、初めて会った人と食住をともにすることはない経験だと思うので、是非参加して、様々な人と意見交換などをして知見を広めていただきたいと思います。
- 結果に関わらず参加して発表するまでのプロセスが大事です。
- マイクロ波に関する技術を専攻している方であつたらブースを周るだけでもワクワクすると思いますが、さらにアイデアソンを通じてひとつのテーマを持つことで新たな気づきがあるかもしれません。